

個人向けM&A仲介

専用サイトに案件掲載

M&A(合併・買収)案件仲介のウェリタス・パートナーズ(東京・品川、長手泰樹代表取締役)は12月から個人向けの仲介事業を始める。景気悪化や後継者の不在で中小企業では会社の売却を検討するオーナーが増加。大手企業退職者らを受け皿にした仲介事業の需要が広がる判断した。2010年度に100件を仲介し、5000万円の売上高を目指す。

新たに始めるのは個人型M&Aサービス。

が運営するサイト「+J」に掲載する。買収を希望する個人は自由にサイトを閲覧でき、気に入った案件があればウェリタス・パートナーズに連絡し、売却希望者セミナーで紹介してもらう仕組み。買収希望者は独自にアドバイザーを雇った上で案件を吟味。会計士らから実施した資産査定を元に買収の判断ができる。購入後は同社が実施予定の財務戦略などについて学べる。売却側の連絡先を同社から受け取る場合だけに費用が発生し、成約手数料などはかかる。料金体系は4段階に分かれ、2万3000円から5件、3万3000円から10件、4万6000円から20件の連絡先を受け取ることができ、最高の9万円だと無制限に連絡先を受け取れる。利用期間はいずれの場合も1年間となっている。

中小・ベンチャー